

中海・宍道湖・大山圏域市長会

資料4

位置づけとねらい

県境を越えた広域連携

- 日本海側を代表する拠点
- 東アジアのゲートウェイ
- 定住人口の拡大および山陰地方における人口流出のダム効果

基本目標

圏域人口60万人の維持

- 産業集積による仕事・雇用の創出
- 地域資源(ヒト・モノ)の発掘と磨き上げ、そして国内外への発信
- 世界に誇れる歴史・文化のさらなる活用

第3期 地方版総合戦略
令和7年度～11年度

◎東アジアをはじめ世界に向けたゲートウェイ機能のさらなる活用

- ・国際航路(境港、米子鬼太郎空港、出雲縁結び空港)の活用

◎インド(ケララ州)・台湾(台北市)との交流の拡大

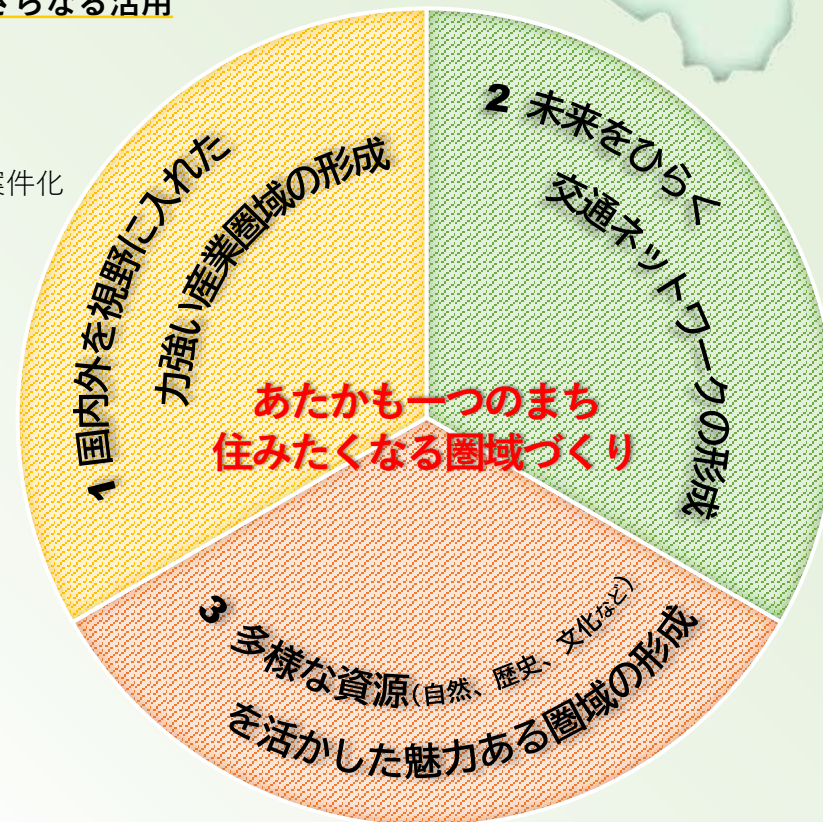
- ・貿易、観光、ＩＴを中心としたビジネス交流の具体化・案件化
- ・学術、教育、文化、スポーツなど交流分野の拡充
- ・人材交流の推進

◎圏域の特徴ある資源の活用と産業の発展

- ・地域を支える「ものづくり」企業への支援
- ・地産外商の推進
- ・圏域内高等教育機関との連携
- ・圏域内企業のDX促進、人材確保等企業が成長できる環境の推進

◎国内およびインバウンド観光の推進

- ・観光素材の磨き上げと情報発信
- ・観光地域づくりのための組織体制強化
- ・キャッシュレス決済、デジタルを活用した多言語化などの受け入れ環境の整備



◎2つの湖を介する「中海・宍道湖8の字ルート」等の早期完成

- ・境港出雲道路(松江北道路)、米子・境港間の高規格道路、中海架橋、江府三次道路、米子道および山陰道の4車線化、安来スマートインターチェンジ(仮称)等の早期実現

◎港湾の利便性向上

- ・港湾施設(重要港湾境港、特定地域振興重要港湾河下港)および国内外航路ネットワークの充実

◎新幹線ネットワークの整備

- ・中国横断新幹線(伯備新幹線)、山陰新幹線の整備促進

◎航空路線の充実

- ・両県と連携した圏域内(出雲・米子)空港の既存路線利用促進と新たな定期航路の開設

◎圏域への移住・定住の促進

- ・ＵＩＪターンの取り組みの推進
- ・関係人口の創出
- ・次代を担う人材育成・確保
- ・多文化共生社会の推進
- ・公共施設の共同利用の推進

◎自然環境の保全と活用

- ・中海、宍道湖、大山、日本海、島根半島・ジオパーク等の自然を活用した交流人口の拡大
- ・自然環境に関する教育機会の充実
- ・グリーン社会の実現

◎歴史、文化の継承と活用

- ・食、スポーツ、伝統芸能、芸術を活用した魅力ある圏域づくり

◎圏域内公共交通の利便性向上

- ・様々な需要に応じた交通サービスの検討(観光二次交通を含む)



だんだんサミット

中海・宍道湖・大山圏域市長会